

和歌山県緊急消防援助隊

平成30年7月豪雨

広島県での活動報告

平成30年7月豪雨災害で、今月12日に出動していましたが和歌山県緊急消防援助隊は19日19時00分、総務省消防庁から和歌山県大隊へ引き揚げ命令があり、20日17時00分、人員・機材共異常なく帰りました。

那賀消防組合緊急消防援助隊の活動

出動車両

救助工作車 1台、後方支援車両 2台

現地活動日数 7日 隊員延べ人数 56名

19日 10時04分 行方不明者1名発見

現地活動スケジュール



資料写真（那賀消防組合）



7月12日 午前10時33分
紀ノ川SA（阪和自動車道）出発



同日21時30分広島県消防学校に到着。
（食料等の積載物）
下ろすのに深夜までかかりました。



7月13日 午前5時00分
広島県消防学校を出発

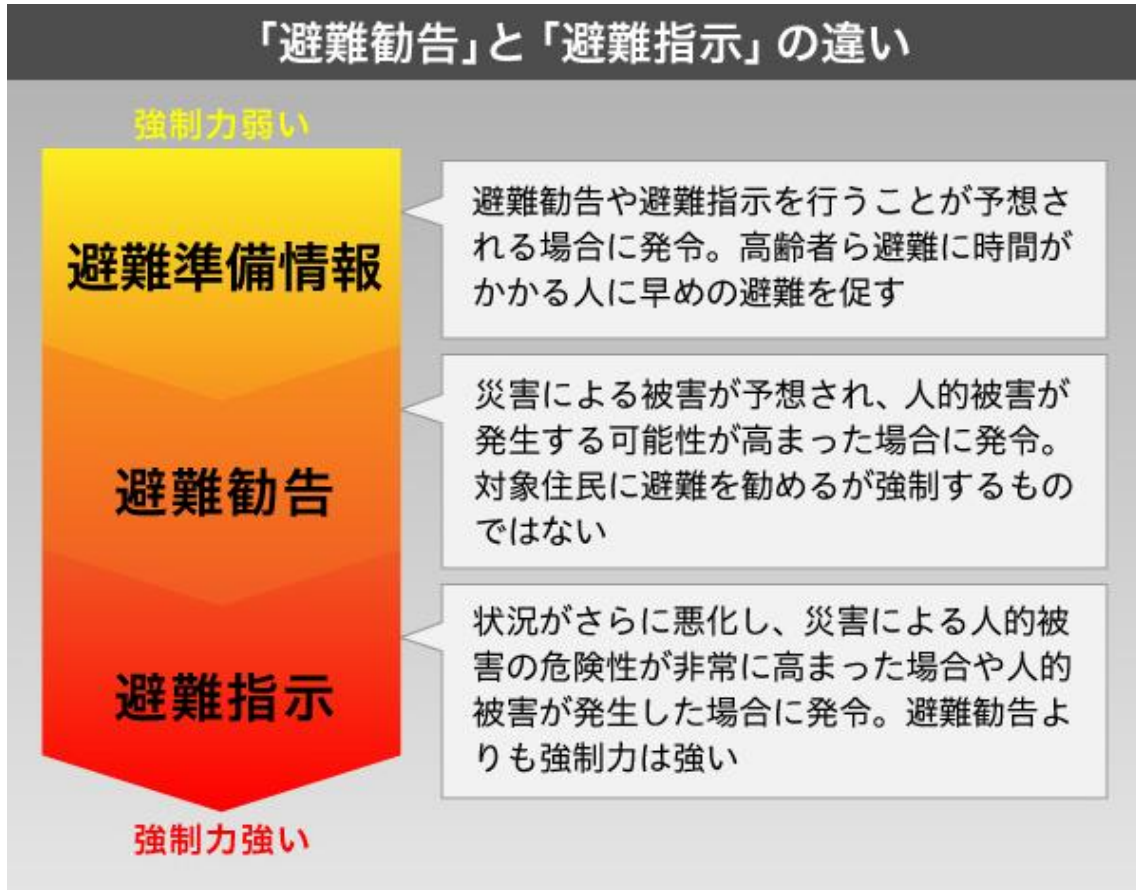


現場搜索活動
和歌山県・兵庫県・広島市 合同



18日午前10時30分
総務省消防庁長官、現場視察

ぼうさい き そちしき
【防災の基礎知識】



【必見】

いっばん ほこうそくど じ
一般の歩行速度はおおむね 4 km/時 であるが、
こうれいしゃ こども ひじょうじ かんあん
高齢者や子供等、さらに非常時であることを勘案する
ひじょうじ そくど はんぶん じていど くらやみ みず
と、非常時の速度は半分の 2 km/時 程度（暗闇や水
つか ほこう そくど じ
に浸かっている歩行では、速度がおおむね 1 km/時
ていど げん かんが ひなんじかん
程度に減じる。）と考えられる。したがって、避難時間
じかん ひなんきより じていど
1 時間での避難距離は 2 km/時 程度なる。また、
とうきょうしょうぼうちやう ちょうさ ほこうげんかい こうれいしゃ
東京消防庁の調査によると、歩行限界は高齢者、
やく じ
こどもで約 2 km/時 とされている。